

事後評価調書(案)

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業(防災ダム事業)																										
地区名	大井池地区																										
事業箇所	額田郡幸田町																										
事業のあらまし	<p>額田郡幸田町の北東部に位置する大井池は、約203haの農地にかんがい用水を供給している農業用ため池である。</p> <p>本ため池は昭和18年度に建設されたが、豪雨時にため池下流域での洪水被害が懸念されるため、貯水位を常時0.5m~1.0m下げて洪水調整容量を確保していた。また、洪水吐断面が不足していることから、豪雨時にはため池内の水位上昇により堤体が決壊し、農地や農業用施設等に多大な被害を及ぼす恐れがあった。</p> <p>このため、ため池決壊を防止する洪水吐の整備に併せて、ため池に洪水調整機能を賦与し、下流へのピーク時放流量を調整することにより、堤体の決壊とため池下流域の洪水被害を未然に防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的に、平成15年度から防災ダム事業を実施し、平成22年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>ため池の洪水吐の改修を行うとともに洪水調節機能を賦与し、ピーク時放流量を調整することにより、ため池下流域の農地、農業用施設及び公共施設等の洪水被害を未然に防止する。</p> <p>(計画基準雨量 321.9mm/2日、1/50年確率雨量)</p> <p>【達成(副次)目標】</p> <p>該当なし。</p>																										
事業費	事業費	内訳																									
	15.8億円	■工事費 14.4億円、■用補費 0.5億円、■その他 0.9億円																									
事業期間	採択年度	平成15年度	着工年度	平成17年度	完成年度	平成22年度																					
事業内容	ため池改修1か所(堤体嵩上げ工一式、洪水吐工一式、取水工一式)																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設供用後からの5年間で、最大2日連続雨量では平成23年9月20日~21日に最大224.0mm(最大1時間雨量78.0mm)を観測したが、ため池下流域の洪水被害は発生していない。</p> <p style="text-align: right;">(岡崎観測所降雨データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大2日連続雨量</td> <td>321.9mm</td> <td>106.0mm</td> <td>224.0mm</td> <td>132.0mm</td> <td>161.5mm</td> <td>84.0mm</td> </tr> <tr> <td>(最大1時間雨量)</td> <td>(80.3mm)</td> <td>(23.0mm)</td> <td>(78.0mm)</td> <td>(37.0mm)</td> <td>(54.0mm)</td> <td>(11.5mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準雨量以下であるが、最大1時間雨量では計画とほぼ同程度の雨量に対して洪水被害は発生しておらず、本事業は、地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H22	H23	H24	H25	H26	最大2日連続雨量	321.9mm	106.0mm	224.0mm	132.0mm	161.5mm	84.0mm	(最大1時間雨量)	(80.3mm)	(23.0mm)	(78.0mm)	(37.0mm)	(54.0mm)	(11.5mm)
	区分	計画	H22	H23	H24	H25	H26																				
最大2日連続雨量	321.9mm	106.0mm	224.0mm	132.0mm	161.5mm	84.0mm																					
(最大1時間雨量)	(80.3mm)	(23.0mm)	(78.0mm)	(37.0mm)	(54.0mm)	(11.5mm)																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>該当なし。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>該当なし。</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

事業期間		事業採択時 (H15)	完了時 (H22)	実績 (H26)	備考
		H15～H21 (7年間)	H15～H22 (8年間)		
事業費 (億円)	工事費	18.5	14.4		
	用地補償費	0.4	0.5		
	その他	2.1	0.9		
	合計	21.0	15.8		
効果の 算定要因	被害面積	184.6ha	—	172.6ha	減 12.0ha
	農地面積	162.7ha	—	139.2ha	減 23.5ha
	宅地等面積	21.9ha	—	33.4ha	増 11.5ha

【事業期間に対する評価】

事業工期を1年間延長したが、概ね計画どおり完了することができた。

【事業費に対する評価】

堤体嵩上げのための盛土材について、ため池内の土を使用したこと等により、約5億円の減額となった。

【効果の算定要因に対する評価】

事業採択時と実績を比較して、事業費は減額しており、被害面積が12ha減少しているがわずかであることから効果については概ね計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

本事業は、すでにあるため池の改修を行うものであり、影響範囲が限定的であることや工事前には魚類の移動を行っており、環境へのマイナスの影響はほとんどない。

III 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。

同種事業に反映すべき事項

堤体嵩上げのための盛土材について、ため池内の土を使用することでコスト縮減を図ることができた。今後は他地区においても使用可能か検討し、コスト縮減に努める。

IV 事業評価監視委員会の意見

V 対応方針